

シャルル・ド・ゴール国際空港からパリ市内に向かう高速道路上等における強盗被害に関する注意喚起

(ポイント)

●シャルル・ド・ゴール国際空港からパリ市内に向かう高速道路等において、渋滞で停車している車両の窓ガラスを割り、座席上のハンドバッグ等を奪う事件が多発しています。

(内容)

1. 最近、シャルル・ド・ゴール空港からパリ市内に向かう高速道路上等における強盗被害が多発しており、平成28年9月だけでも6件の邦人被害が報告されています。

2. 被害事例はいずれも同様であり、シャルル・ド・ゴール空港からタクシーやレンタカー、自家用車でパリ市内に向かう高速道路上で、渋滞で停車した際に石のようなもので窓ガラスが割られ、膝上に乗せていたバッグ等を強引に奪われるものです。

3. この手口は過去からも発生していますが、最近増えてきたことから、フランスに滞在中の方や渡航を予定している方は、車両に乗る際には以下の点に留意しつつ、犯罪に巻き込まれないように十分注意してください。

●ハンドバッグ等の手荷物は、膝上や座席には置かず、トランクに入れるようにしてください。

●やむを得ず、手荷物を車内に持ち込む際には、左座席後方（運転席後方）の足元に置き、外部から見えないように工夫（足で隠すようにするか布などをかける等）してください。一人で運転中、助手席の足元に置いていたが盗難されたケース、後方右側に乗車中、外部から見えにくいように人とドアで挟むような形で置いていたが盗難されたケースも報告されています。

●渋滞などで車が減速・停止した際には、後方や周囲に特に注意してください。特に多く発生している場所は、Stade de France（サンドニにある多目的競技場）を過ぎたトンネル付近（トンネル内やトンネルから出て数百メートルの場所）です。この付近を走行中に渋滞している場合、可能な限り、一番右側の車線は避け、真ん中の車線や一番左側の車線に移動してください。タクシーの場合も運転手に一番右側の車線は避けるように伝えてください。（報告されているケースは全て一番右側の車線を走行中、右側の窓ガラスを割られています）

●高級ブランド品はなるべく身につけず、身につける場合には、コートや上着で隠すなど、目立たないように工夫してください。

●万一被害に遭った場合でも、自ら犯人を追跡することはせず、警察（112）に連絡し

てください。

(問い合わせ窓口)

在フランス日本国大使館

住所：7, Avenue Hoche, 75008, Paris, France

電話：(市外局番 01) 4888-6200

国外からは(国番号 33) -1-4888-6200

F A X：(市外局番 01) 4227-5081

国外からは(国番号 33) -1-4227-5081

ホームページ：<http://www.fr.emb-japan.go.jp/jp/>